

令和六年度 上尾市立大谷中学校入学式式辞

春のかおり溢れる季節となりました。皆さんの入学を歓迎するかのよう、日差しがこの体育館の中にまで降り注いでいます。

ただいま、元気に返事をしてくれた百三十五名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今日から皆さんは、大谷中学校の生徒として、第一歩を踏み出します。四十三名の職員と二百二十九名の在校生が、皆さんを心から歓迎いたします。

さて今日のよき日に、上尾市教育委員会 委員 小池智司(さとし) 様、上尾市市議会議員 浦和 三郎 様、本校PTA副会長 八木 春樹 様、学校運営協議会 委員の皆様、そして多くの保護者の皆様に御出席をいただき、ここに第四十回上尾市立大谷中学校入学式を挙行できますことに、心より感謝申し上げます。

さて、新入生の皆さん、いよいよ中学校の生活が始まります。皆さんの心は、中学生になった喜びや期待感で溢れているとともに、不安もある、そんな気持ちではないでしょうか。

義務教育最後の三年間を担う中学校は、一言で言えば、大人になるための準備をするところです。皆さんは、この大谷中学校で、社会に貢献する、更に言えば、これからの未来を創っていく大人になるための土台を、しっかりと作らなければなりません。

そこで、入学にあたって三つお話しします。一つ目。本校の教育目標である、「夢を持つ」ことについてです。

皆さんが小学校に入学した時、六年後は大谷中に入学することが決まっていた人がほとんどだと思います。しかし、中学校に入学した今、その三年後は何も決まっていません。三年後の進路は、これからの皆さん次第なのです。

今日、中学校生活をスタートしたばかりの皆さんですが、三年後、卒業式の自分の姿を思い描いてみてください。自分は何のよう成長しているのか、そしてどんな進路を選択するのか、出来るだけ具体的に想像してみてください。その姿が、そのまま皆さんの目標となるのです。そして、その目標に向け、努力を積み重ねていくことが、やがては大きな夢の実現へと繋がるはず。それが、「夢を持つ」ということです。

二つ目は、「たくましく生きる」ことについてです。目標を達成するために、努力を重ねることは簡単なことではありません。しかしその目標を自分の壮大な夢として捉えて、夢を一日一日大切に育んでください。夢を育む過程は必ず自分の成長につながります。もちろんこれから始まる学校生活は平穏な毎日ではありません。幾多の困難なことを経験するかもしれませんし、とても辛い思いをすることもかもしれません。しかし夢をあきらめず、努力を続けることが人を強く、たくましくします。この世界を見渡すと戦時下、大災害の後など、とても大変な状況下で生活している人々がたくさんいます。夢を育みながら、強くたくましく成長し、世界中の人々の助けになることのできる人になってください。

最後、三つ目、「明るく」生きることについてです。どんなにAIが進化し、ロボットや技術が発展しようとも、人間として最も大切なことは、「人と人とのつながりを

大切に、ともに明るく生きていく」ということです。

人は、一人一人みな違うところがあります。顔や体型はもちろん、得意なこと、苦手なこと、好きなもの、嫌いなもの、モノの見方や考え方など、むしろ違うことの方が多く、一人一人違うのが当たり前です。だからこそ、その違いをお互いに理解し、認め合い、尊重し、ともに支え合っていくことが大切です。そして、お父さん、お母さんから与えられた命の尊さ、重さをかみしめ、周りの人を大切にするとともに、自分自身を大切にしながら、心身ともに明るく成長してくれることを願います。

中学校の三年間は瞬く間に過ぎていきます。自分の行動に大谷中生としての自覚と責任を持ち、何事にも全力で取り組むことで、大谷中で三年間が充実したものとなるよう、頑張ってください。

保護者の皆様方、改めましてお子様の御入学、誠におめでとうございます。入学いたしました一人一人の生徒が、明るく、夢を持ち、たくましく成長できますよう、職員一同、誠心誠意努めてまいります。

結びに中学校生活をスタートする新入生百三十五名の皆さんの今後の大いなる活躍を期待して、校長の式辞といたします。

令和六年四月八日

上尾市立大谷中学校長 山田 正浩